

■ 平成25年10月18日



# 研究だより

第37号

自治医科大学附属さいたま医療センター



## 研究ノススメ

内分泌代謝科 教授 石川三衛

大学を卒業後2年間の初期研修が必修化されて、医師の専門医志向はますます強まってきている。医師として診療技術の習得と診療の経験を積み重ねることはより充実した医療サービスを実践する上で、きわめて重要である。このような研修生活の中では、実験室での活動など考える余地はないのではないか。本稿では、あえて「研究に目を向けて」と私の経験を含めて述べてみたい。

私が、大学で過ごしたこれまでの37年間常に基礎研究と臨床活動の2足のわらじを履いての生活であった。とくに初期研修を終えてシニアレジデントになってから、夕方から深夜まで実験室での生活が始まった。始めは教授から研究のセッティングを指示された。はじめにいただいたテーマは視床下部下垂体後葉の器官培養系を用いてバソプレシンの分泌調節を検討するものであった。当時の実験室には培養室がなく、私自身で素人のまま培養室のセッティング、培養手技の確立、そして実験の遂行と全て一人仕事であった。いつも「考えさせられる」立場で、実験はしているものの今ひとつ心が浮かない毎日であった。それでも2年くらいで何とか1つ論文をまとめることができた後、つぎは何をするか、これまでの仕事をどう発展展開するか「自分から考える」ことが可能になると、夜の実験はさらに遅くまで続くことになった。自分で作るエビデンスは充実感を与えてくれて、つぎの疑問へと発展するらしい。そんな研究思考の中で生まれる事実認識と論理思考はたいへん貴重な財産である。

シニア3年を終了後、米国コロラド大学での留学生活が2年半続いた。懂っていたRobert Schrier教授との研究であった。バソプレシンの腎V2作用を基盤と

して、バソプレシンの作用機序、バソプレシン分泌過剰の病態における水利尿不全や低Na血症の病態生理の研究に携わった。この経験は私の終生の研究テーマとなり、帰国後今日まで研究の支柱となってきた。時の流れは、新しい実験ツールを、新しい分子バソプレシン遺伝子、バソプレシン受容体遺伝子、アクアポリン水チャネルなどの発見を生み出した。これらの発展に支えられて、私はこの分野のテーマの拡大と同時に研究の深遠化を図ってきたつもりである。研究の視点は常に臨床の現場にあり、臨床で生まれた疑問を実験室に持っていきその病態生理の解析を試みることはないか。

1例をあげると、今日臨床に応用されているくすりの1つにトルバプタンがある。これは非ペプチド性バソプレシン受容体拮抗薬で、国内ではうっ血性心不全、心性浮腫に用いられている。私はこのバソプレシン受容体拮抗薬の仕事は1980年から続けてきた。当初はオハイオ医科大学のMaurice Manning教授、コロンビア大学のWilbur Sawyer教授らとバソプレシン構造アナログの研究、そして1992年から大塚製薬の山村由孝氏らとともに非ペプチド性バソプレシンV2受容体拮抗薬の開発に携わってきた。拮抗薬の薬理的特徴、水利尿不全、たとえばSIADH、心不全、肝硬変、下垂体機能低下症などでのバソプレシンの病態生理とV2受容体拮抗薬の有用性を示してきた。また同時にヒトへの臨床治験にも参画してきた。非ペプチド性バソプレシン受容体拮抗薬の開発から約20年、私がバソプレシン受容体拮抗薬の研究に関わってから30年の2010年に国内で心性浮腫への適応が認められた。このように1本の細い糸が途切れずに継続することが大切であ

ると実感させられる。

基礎的研究は臨床経験とかけ離れたものであり、単に回り道をするだけのことであろうか。基礎的研究を日常臨床と並行して行うことはなかなか苦勞するのは事実である。しかし、そのような努力を払っても基礎研究を行うメリットは大きく、たいへん意義あるものと考えている。臨床において問われることは、これまで得た経験とエビデンスを基にして眼前の患者に対応することである。研究思考の中では自ずと事実を見る目、客観的に分析する能力が向上してくるので、患者への論理的思考が優れてくる。卑近な例であるが、私はここ数年文部科学省外郭の学術振興会で特別研究員の審査を行っている。これは博士号 (Ph.D.) を得た研

究者が研究継続のため申請するものであるが、個人の研究生活に対しての期限付きの報酬制度である。これを取ることができないと、日限アルバイトの職員としてしか身分が保障されない中で研究を行うことになる。採択率は20数%となかなか厳しい。これに比べて私たち医師の世界は経済的にはかなり潤沢である。アルバイトをしながら大学院での研究ができる、医師が就職難で苦しむことはない。経済的には研究と臨床に並行して携わることが可能である。私は若い医師時代、臨床とともに進んで基礎的研究に身を置くことを勧めたい。研究は回り道ではなく、すばらしい人生の遊歩道なのである。

## 研究の成果

### 総合医学 1

#### ■ 循環器科

・ 前回未掲載分、及び2013年6月～

#### 【原著論文】

- 1) Fujiwara, T., Ako, J., Sugawara, Y., Momomura, S.: Late-gadolinium enhancement in cardiac sarcoidosis. *Eur Heart J.* 2013 Aug; 34 (30): 2411.
- 2) Ueba, H., Shiomi, M., Brines, M., Yamin, M., Kobayashi, T., Ako, J., Momomura, S., Cerami, A., and Kawakami, M.: Suppression of coronary atherosclerosis by helix B surface peptide, a nonerythropoietic, tissue-protective compound derived from erythropoietin. *Mol Med.* 2013 Jul24; 19 (1): 195-202.
- 3) 池田奈保子, 栗原明日香, 宇賀田裕介, 和田浩, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 慢性心不全患者の運動時周期性呼吸と中枢性睡眠時無呼吸の関連、短期予後への影響 心臓リハビリテーション学会誌2013 Vol.18 No.2 241-246.
- 4) Hirayama, A., Isobe, M., Ito, H., Kitakaze, M., Momomura, S., Sawa, Y., Seino, Y., Tsutsui, H., Yamazaki, K., and Yoshikawa, T (JCS Joint Working Group): Guidelines for Treatment of Acute Heart Failure—Digest Version— *Circ J.* 2013 Aug; 77 (8): 2157-2201.

#### 【著書・総説】

- 1) 中川十夢, 和田 浩, 百村伸一: 心拍数は心不全のリスクマーカーか、リスクファクターか 月刊循環器Circulation  $\beta$  遮断薬を使いこなす—生命予後の改善を目指して— 2013.8 (Vol.3 No.8) 48-57 医学出版
- 2) 松田 淳, 和田 浩, 坂倉建一, 岡崎 修, 蘆澤正弘, 萩原将太郎, 山田茂樹, 峰 宗太郎, 三橋武司, 阿古潤哉, 百村伸一: 多発性骨髄腫に合併した心アミロイドーシスの1例 診断と治療社目で見える循環器CPC

#### 【学会発表】

- 1) Yamamoto, K., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Katayama, T., Arao, K., Funayama, H., Sugawara, Y., Ako, J., and Momomura, S.: Spontaneous resolution of coronary artery aneurysm after bare metal stent implantation. *Euro PCR 2013, Paris, France, May 19-25, 2013.*
- 2) 阿古潤哉: 冠動脈内異物に対する適応とその破綻 第17回日本適応医学会, さいたま, 2013年6月29日.
- 3) 梅本富士, 阿古潤哉, アラン・チェート, 川上正舒, 百村伸一: HDLおよびその主構成成分であるアポリポrotein Aは脂肪組織における炎症反応惹起を有意に抑制する 第17回日本適応医学会, さいたま, 2013年6月29日.
- 4) 池田奈保子, 宇賀田裕介, 栗原明日香, 荒尾憲司郎, 和田 浩, 船山 大, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 慢性心不全患者と健常者における Adaptive Servo Ventilationの自律神経活動にお

- よぼす急性効果—心拍変動解析による検討 第17回日本適応医学会, さいたま, 2013年6月29日.
- 5) 上羽洋人, Michael Brines, Michael Yamin, Anthony Cerami, 梅本富士, 阿古潤哉, 川上正舒, 百村伸一: 慢性心不全動物モデルにおける非造血性エリスロポエチン誘導体による心筋保護作用—抗アポトーシス効果による適応 第17回日本適応医学会, さいたま, 2013年6月29日.
  - 6) Ikeda, N., Ugata, Y., and Momomura, S.: Effect of Adaptive-Servo Ventilation on Autonomic Nervous Function Investigation by Heart Rate Variability Analysis IEEE生体医工学学会, 大阪, 2013年7月6日.
  - 7) 山本 慶, 和田 浩, 阿古潤哉, 百村伸一: 薬剤漏出性ステント留置後の抗血小板剤服用中患者における非心臓手術の心血管リスクと出血リスク 日本心血管インターベンション学会, 神戸, 2013年7月12日.
  - 8) 池田奈保子, 栗原明日香, 宇賀田裕介, 鶴巻良允, 笹井祥充, 宮村大治郎, 門手和義, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 慢性心不全患者および健康者の自律神経活動におよぼすAdaptive Servo Ventilationの急性効果 心臓リハビリテーション学会, 仙台, 2013年7月13日.
  - 9) 山本真吾, 和田 浩, 若林靖史, 坂倉建一, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 当院における経皮的肺補助装置を挿入された患者の転帰 日本心血管インターベンション学会, 神戸, 2013年7月13日.
  - 10) Ibe, T., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Katayama, T., Hayashi, T., Umamoto, T., Funayama, H., Hirata, K., Ueba, H., Sugawara, Y., Ako, J., Mitsuhashi, T., and Momomura, S.: Pulmonary hypertension in patients with left heart disease: the relationship with left ventricular systolic function. ESC2013, Aug 31, 2013, Amsterdam, Netherland.
  - 11) Yamada, Y., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N., Sugawara, Y., Ako, J., Momomura, S.: Clinical features between heart failure and sleep disordered breathing. The 13<sup>th</sup> International Endothelin Conference on Endothelin Sep9, 2013, Tokyo, Japan.
  - 12) 伊部達郎, 和田 浩, 坂倉建一, 山田容子, 石田弘毅, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 左心性疾患に伴う肺高血圧症における臨床像とout-of-proportionについて 日本心臓病学会, 熊本, 2013年9月20日.
- 【研究会】**
- 1) 百村伸一: 睡眠時無呼吸と心血管疾患 第3回米子循環器・内分泌代謝フォーラム, 米子, 2013年6月12日.
  - 2) 秋本知則: ファウンテンカテーテルが奏功した両足下肢深部静脈血栓の一例 第11回埼玉東部PCI勉強会, さいたま, 2013年6月21日.
  - 3) 百村伸一: 睡眠呼吸障害と心血管疾患—その密接な関係— 第41回東海運動医学懇話会, 名古屋, 2013年6月21日.
  - 4) 谷口陽介, 船山 大, 賀嶋ひとみ, 伊藤みゆき, 山本 慶, 片山卓志, 池田奈保子, 荒尾憲司郎, 三橋武司, 百村伸一: POBA後にMain Wire とBuddy Wireがかなり離れてしまった前下行枝高度石灰化屈曲病変の一例 第63回埼玉Interventional Cardiology研究会, さいたま, 2013年6月29日.
  - 5) 和田 浩: 肺高血圧症の早期診断・早期治療～循環器医の立場から～南埼玉郡市医師会学術講演会, 久喜, 2013年7月4日.
  - 6) 百村伸一: 心不全治療におけるASVの役割 第107回いわき心疾患勉強会, 2013年7月29日.
  - 7) 百村伸一: DES時代の冠動脈疾患薬物治療 長崎冠動脈疾患Up to Date, 長崎, 2013年7月30日.
  - 8) 和田 浩, 伊部達郎, 坂倉建一, 池田奈保子, 菅原養厚, 阿古潤哉, 百村伸一: 肺高血圧は収縮能の保持された心不全では収縮能の低下した心不全と同等に合併する 岡山PHフォーラム講演, 岡山, 2013年8月2日.
  - 9) 百村伸一: 心不全 第5回循環器夏季セミナー・セッション6, さいたま, 2013年8月10日.
  - 10) 菅原養厚: 当院におけるトルバプタンの使用経験と考察 心不全フォーラム, さいたま, 2013年9月6日.
  - 11) 和田 浩: 難治性重症心不全と肺動脈性肺高血圧の体液貯留の治療におけるトルバプタンの役割 大塚製薬社内講演, さいたま, 2013年9月12日.
  - 12) 和田 浩, 百村伸一: 当院における重症PAHチーム医療 重症PAHネットワーク, さいたま, 2013年9月17日.
  - 13) 和田 浩: 左心疾患に伴うと肺高血圧(グループ2)における臨床研究の最近の動向について 日本新薬社内講演, さいたま, 2013年9月25日.
  - 14) 池田奈保子: 慢性心不全に対する心臓リハビリテーションの効果 心不全ASVリサーチフォーラム第一回学術集会, 大阪, 2013年9月28日.

## ■ 消化器科

### ①学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要 (2013年6月～8月)

- 1) 福西昌徳, 宮谷博幸, 吉田行雄, 山田茂樹. 自然軽快した腫瘍形成性膵炎の1例. 第44回日本膵臓学会大会 膵臓 2013; 28: 499 2013. 7. 25 仙台
- 2) 板橋佳恵, 小林瑠美子, 浅野岳晴, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 山中健一, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 松本吏弘, 福西昌徳, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄. ソラフェニブ効果SDで腫瘍内血流の低下していた非巨大肝癌からの一破裂例. 第325回日本消化器病学会関東支部例会 抄録集40p 2013. 7. 13東京
- 3) 福西昌徳, 宮谷博幸. 胃粘膜下腫瘍に対するEUS-FNA. 第3回埼玉県EUS研究会. 2013. 6. 20 さいたま市
- 4) 宮谷博幸. 胃ESDに関わる諸問題についてアンケート報告. 第9回埼玉県東部治療内視鏡検討会. 2013. 6. 25 さいたま市
- 5) 新藤雄司. 早期胃癌内視鏡治療後再発症例における問題点. 第9回埼玉県東部治療内視鏡検討会. 2013. 6. 25 さいたま市
- 6) 松本吏弘. 内視鏡発見胃がんの解析. 平成25年度第1回胃がん内視鏡検診症例検討会. 2013. 6. 27 さいたま市

### ②原著その他論文 (2013年6月～8月)

- 1) 新藤雄司, 牛丸信也, 吉田行雄, 宮谷博幸. 腸閉塞症状を呈した多発結腸憩室炎の1例. Progress of Digestive Endoscopy 2013; 82 (1): 196-197

## ■ 呼吸器科

平成25年7月～25年12月

### 学会参加

- 1) 日本気管食道科学会 2013/10/31-11/1 東京 座長、発表
- 2) 日本肺癌学会 2013/11/21-22 東京
- 3) 日本アレルギー学会秋季学術大会 2013/11/28-30 東京

### 学会発表

- 1) 渡辺恭孝, 白石 守, 岩井悠希, 野村基子, 三輪千尋, 小山信一郎. 特発性間質性肺炎における抗CCP交代の有用性の検討. 第53回日本呼吸器学会

学術総会 2013/04/19-21、東京 p 225

- 2) 野村基子, 渡辺恭孝, 白石 守, 岩井悠希, 三輪千尋, 小山信一郎. 当院で経験したclinically amyopathic dermatomyositis (CADM) 合併間質性肺炎9症例の検討 第53回日本呼吸器学会学術総会 2013/04/19-21、東京 p 226

### 原著

- 1) 渡辺恭孝, 工藤史明, 白石 守, 三輪千尋, 松本建志, 小山信一郎. ゲフェチニブ内服中に増悪した癌性髄膜炎に対して、エルロチニブが奏功した肺腺癌の一例. 肺癌 2013; 53: 114-120

### 著書総説

- 1) 小山信一郎. 無気肺 別冊・医学のあゆみ 呼吸器疾患-state of arts Ver. 6 編集 北村、石井、巽pp488-490 医歯薬出版 2013/04/15
- 2) 小山信一郎. 座談会 BUD/FM配合剤がもたらす喘息治療の新ステージ. Medical Tribune 2013年5月23日特別企画

### 学会・地方会・研究会発表

- 1) 小山 信一郎. ラジオNIKKEI ドクターサロン「SMART療法とは」2013/03/06 放送
- 2) 中野智之, 峯岸健太郎, 坪地宏嘉, 遠藤俊輔, 渡辺恭孝, 小山信之, 小山信一郎, 蛭田昌宏, 山田茂樹. 気管支閉塞を伴ったサルコイドーシスの1例. 第144回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会 2013/03/09 東京
- 3) 野村基子, 坪地宏嘉, 中野智之, 峯岸健太郎, 白石 守, 小山信一郎, 遠藤俊輔. 限局性悪性胸膜中皮腫の一例. 第166回日本肺癌学会関東支部会. 2013/03/16 東京
- 4) 岩井悠希, 渡辺恭孝, 野村基子, 白石 守, 三輪千尋, 小山信之, 小山信一郎, 遠藤 実, 税田和夫. 肺炎球菌による膿胸・化膿性脊髄炎の一例. 第204回日本呼吸器学会関東地方会. 2013/05/25 東京
- 5) 草刈 翔, 坪地宏嘉, 眞木 充, 中野智之, 遠藤俊輔, 渡辺恭孝, 小山信之, 小山信一郎. 気管支内腔伸展の形態で再発した肺癌に対するサルベージ手術. 第145回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会. 2013/06/08、東京
- 6) 中野智之, 眞木 充, 坪地宏嘉, 遠藤俊輔, 渡辺恭孝, 小山信之, 小山信一郎, 野首光弘. 多発性定型肺カルチノイドの1例. 第167回日本肺癌学会関東支部会. 2013/06/08、東京

## ■ 神経内科

### 【原著】

- 1) 藤本由貴、崎山快夫、大塚美恵子、石川眞実、小島篤宏、植木 彰：軟口蓋と横隔膜にミオクローヌスが出現した硬膜動静脈瘻の1例. 運動障害 2013；23：1-7.

### 【学会発表】

- 1) 松沢迪子、松永 渉、山下武志、松林洋志、渡辺珠美、黒田 仁、石井 彰、菅原 斉、崎山快夫、大塚美恵子：急性Wernicke脳症を発症したアルコール依存症の1例. 594回日本内科学会関東地方会 2013. 2. 東京
- 2) 大塚美恵子、崎山快夫、植木 彰：脳脊髄液減少症患者におけるのMRミエログラフィー所見－背側肋間高信号像－の検討. 第54回日本神経学会学術大会 2013. 5. 29.-6. 1、東京
- 3) 崎山快夫、大塚美恵子、植木 彰：微小出血、血清脂肪酸組成および糖尿病からみた認知症における血管因子の検討. 第54回日本神経学会学術大会 2013. 5. 29. -6. 1、東京
- 4) 眞山英徳、崎山快夫、大塚美恵子：当施設の視神経脊髄炎患者における治療効果と長期予後. 第54回日本神経学会学術大会 2013. 5. 29. -6. 1、東京

### 【研究会】

- 1) 崎山快夫：記銘力低下、易転倒性で発症し進行性核上性麻痺（PSP）との鑑別に脳血流SPECTが有用だったレビー小体型認知症（DLB）の1例. 第1回 彩の国で脳画像を語る会. 2013. 1. 22. さいたま
- 2) 崎山快夫：パネルディスカッション－症例呈示－. 第1回 さいたまパーキンソン病カンファレンス. 2013. 2. 26. さいたま
- 3) 崎山快夫：経過中パーキンソン病様振戦を呈した傍腫瘍性脳炎の1例. 第7回 Saitama Neurological Seminar. 2013. 3. 6. さいたま
- 4) Aya Narita, Yoshio Sakiyama, Mieko Otsuka, Atsue Matsuda, Eiji Nanba, Kousaku Ohno：Abnormal Copper metabolism similar to Wilson's disease in patients with Niemann-Pick type C. 5th Scientific Symposium on Niemann-Pick type C：Next Generation of NPC Management. 2013. 3. 15-17. Vienna Austria.
- 5) 大塚美恵子：脳脊髄液減少症患者における頭部MRI硬膜造影所見の実態. 第11回脳脊髄液減少症研究会2013 3. 23-24、東京

- 6) 崎山快夫：当センターにおけるメマンチンの使用経験. 認知症フォーラム in SAITAMA 2013. 2013.3.27. さいたま
- 7) 崎山快夫：ウィルソン病類似の銅代謝異常を呈したニーマン・ピック病C型の兄弟例. ニーマン・ピック病C型シンポジウム 東京－診断と治療－. 2013. 4. 27. 東京
- 8) 荒木俊彦, 大野智之, 島田秀穂, 崎山快夫, 中村 祐：メモリーの臨床の実際. Memory Round Table Discussion 2013 Saitama. 2013. 6. 22. 東京

### 【講演会 その他】

- 1) 大塚美恵子：アルツハイマー病と栄養 第34回日本臨床栄養学会総会 第33回日本臨床栄養協会総会 第10回大連合大会 教育講演 2012. 10. 6、東京
- 2) 大塚美恵子：認知症について 第13回見沼臨床談話会 2012 10. 9.さいたま市
- 3) 大塚美恵子：認知症と糖尿病 第1回糖尿病トータルマネージメントフォーラム 2012. 12. 12. さいたま市
- 4) 大塚美恵子：パーキンソン病患者におけるDBS施行後の治療戦略 進行期パーキンソン病に対する薬物療法 第33回日本脳神経外科コングレス総会ランチョンセミナー 2013 5. 11. 大阪
- 5) 崎山快夫：認知症の現状と治療. ノバルティスファーマ社内勉強会. 2013. 7. 8. さいたま市

### 【監修】

- 1) 看護学生のためのレビューブック2014 第15版 平成25年3月20日 発行 編集 岡庭 豊 株式会社メディックメディア ISBN 978-4-89632-469-3
- 2) 看護師・看護学生のための なぜ? どうして? ⑤ 第5版 成人看護 脳神経・運動器・血液・免疫 平成25年4月12日発行 編集 医療情報科学研究所 株式会社 メディックメディア
- 3) クエストン・バンクSelect必修 2014 看護師国家試験問題集 第9版 平成25年4月11日発行 編集 医療情報科学研究所 株式会社 メディックメディア ISBN 978-4-89632-472-3
- 4) クエストン・バンク看護師国家試験問題解説 2014 平成25年4月18日 第14版発行 編集 医療情報科学研究所 株式会社 メディックメディア ISBN 978-4-89632-470-9

## ■ 小児科

### 学会発表

- 1) 丸山麻美、佐藤有子、市橋光：新生児後頭蓋窩硬膜下血腫の脳エコー像. 第32回日本脳神経超音波学会総会、徳島、2013年6月14日
- 2) 山下信一郎、磯貝美穂子、丸山麻美、佐藤有子、市橋光：小児下気道疾患に対する陽陰圧体外式人工呼吸器（RTX）の使用経験. 第27回日本小児救急医学会、宜野湾、2013年6月14日
- 3) 菅原大輔、丸山麻美、佐藤有子、市橋光：糖尿病母体産児合併症の母体グリコアルブミンによる予測値の検討. 第49回日本周産期新生児医学会学術集会、横浜、2013年7月16日
- 4) 今西利之、市橋光：血液異常を伴ったWaardenburg症候群の1例. 第53回日本先天異常学会学術集会、大阪、2013年7月22日

## ■ 病理部

### 原著論文

- 1) 野首光弘、蛭田昌宏、渡辺恭孝、栗山健吾、手塚憲志、濱本耕平：薄壁空洞を呈した肺腺癌の1例. 日本胸部臨床72(9)：1029-1036, 2013

### 研究会

- 1) 野首光弘：専門医セミナー症例検討：日本消化器病学会、関東支部第326回例会、東京、2013年9月14日

## ■ 臨床検査部

### ☆原著論文

- 1) 高嶋浩一、佐々木勝一、尾本きよか、河野幹彦：低酸素性虚血性脳症の予後評価における体性感覚誘発電位（SEP）N20の有用性. 埼臨技会誌60(1), 6-11, 2013

### ☆学会発表

- 1) 河野哲也、扇田智彦、山田茂樹：胞診領域における多焦点ヴァーチャル画像ソフトの活用経験. 各都県会長推薦演題, 27回日本臨床細胞学会関東連合会学術集会, 2013年9月7日, 京葉銀行文化プラザ（千葉）

### ☆その他

- 1) 尾本きよか：第16回常陸水戸画像診断研究会「乳腺・甲状腺超音波検査に関する最新のトピック

スー造影超音波と甲状腺結節ガイドライン」, 2013年6月22日, 茨城県常陸大宮市

- 2) 高嶋浩一：脳波基礎コース「小児脳波の判読」, 第8回臨床神経生理技術講習会, 2013年8月4日, 東京都
- 3) 河野哲也, 大野喜作, 三升畑奈穂, 金守彰, 伊佐山絹代, 高野政志, 安達章子：子宮頸部扁平上皮病変の集塊のみかた, 第23回埼玉県臨床細胞学会ワークショップ, 2013年7月6日, 埼玉医科大学国際医療センター（埼玉）
- 4) 園山政行：「細胞周期から見た細胞形態異常」, つくば臨床検査教育血液学研修会, 2013年6月15日, つくば市
- 5) 園山政行：「染色体核型の読み方」. 東京血液同好会, 2013年6月28日, 東京都

### ☆著者 総説

- 1) 尾本きよか：体表エコー検査. 検査と技術41(8)：654-660, 2013

## 総合医学2

## ■ 一般・消化器外科

## 原著

- 1) Kiyosaki H, Saito M, Chiba H, Takata O, Rikiyama T : Laparoscopic wedge resection of the stomach for gastrointestinal stromal tumor (GIST) : non-touch lesion lifting method. Gastric Cancer 7, 2013 (PMID : 23743878)
- 2) 柿澤奈緒、野田弘志、力山敏樹 : GS療法21コース施行後に切除した大動脈周囲リンパ節転移陽性膵癌の1例. 膵・胆道癌FRONTIER 3 (1) : 46-47 2013

## 総説

- 1) 早田邦康 : ポリアミンによるアンチエイジングー遺伝子修飾作用ー. New Food Industry 株式会社食品資材研究会 55 (8) : 1-10, 2013.
- 2) 早田邦康 : 抗炎症物質とアンチエイジング. 乳酸菌ニュース2013・夏季号. 25-28. 2013. 一般社団法人全国発酵乳酸菌飲料協会はっ酵乳、乳酸菌飲料公正取引協議会.

## 学会発表

- 1) Kiyozaki H, Saito M, Rikiyama T : Usefulness of laparoscopic wedge resection Of the stomach for gastrointestinal stromal tumor (GIST) of the stomach. 10th International Gastric Cancer Congress 2013.6.19-22, Verona, Italy Speech
- 2) Saito M, Kiyozaki H, Rikiyama T : The accumulation of DNA demethylation in SAT-A in normal gastric tissues with helicobacter pylori infection renders susceptibility to gastric cancer in some individuals. 10th International Gastric Cancer Congress 2013. 6. 19-22, Verona, Italy Speech
- 3) Suzuki K, Kato T, Muto Y, Tsujinaka S, Sasaki J, Kawamura Y, Konishi F, Rikiyama T : XELIRI regimen with continuous treatment of bevacizumab is well-tolerated and effective as second-line chemotherapy in patients with mCRC. ESMO 15th World Congress on Gastrointestinal Cancer, 2013. 7. 3-6 Barcelona Spain Speech
- 4) Kato T, Suzuki K, Muto Y, Sasaki J, Tsujinaka S, Kawamura Y, Konishi F, Rikiyama T : Perioperative screening gastroscopy for

colorectal cancer patients contributes to early detection of gastric cancer. ESMO 15th World Congress on Gastrointestinal Cancer, 2013.7.3-6 Barcelona Spain Speech

- 5) Muto Y, Suzuki K, Kato T, Tsujinaka S, Sasaki J, Konishi F, Rikiyama T : The efficacy of the chemotherapy for metastatic colorectal cancer according to the metastatic organs. ESMO 15th World Congress on Gastrointestinal Cancer, 2013.7.3-6 Barcelona Spain Speech
- 6) 渡部文昭、野田弘志、谷口 肇、山田茂樹、力山敏樹 : 肝門部胆管癌に対する肝中央二区域+尾状葉切除術. 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2013. 6. 12-14、栃木 ミニシンポジウム
- 7) 力山敏樹、元井冬彦、片寄 友、江川新一、海野倫明 : 切除企図膵癌の集学的治療における術前GSの意義と可能性. 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会、2013. 6. 12-14、栃木 ミニシンポジウム
- 8) 野田弘志、渡部文昭、力山敏樹 : 膵切除術における門脈管状切除再建の手技 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会、2013. 6. 12-14、栃木 ミニビデオシンポジウム
- 9) 渡部文昭、野田弘志、谷口 肇、土橋 洋、力山敏樹 : 門脈圧亢進症を呈したMirizzi症候群1例. 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会、2013. 6. 12-14、栃木 口演
- 10) 谷口 肇、野田弘志、渡部文昭、野首光弘、力山敏樹 : Intraductal papillary neoplasma of the bile duct (IPNB)の一例. 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会、2013. 6. 12-14、栃木 ポスターセッション
- 11) 坪井基浩、野田弘志、渡部文昭、柿澤奈緒、山田茂樹、力山敏樹 : 膵内分泌癌大動脈周囲リンパ節再発に対し放射線治療後2年4か月SDを得ている一例. 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会、2013. 6. 12-14、栃木 ポスターセッション
- 12) 石岡大輔、高田 理、齊藤正昭、小櫃 保、清崎浩一、力山敏樹 : 食道癌に対する化学療法施行中に腸管囊腫様気腫症を発症した一例. 第829回外科集談会、2013. 6. 29、東京 口演
- 13) 清崎浩一、小櫃 保、石岡大輔、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、力山敏樹 : 食道外科の緩和知慮への関わり. 第68回日本消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
- 14) 野田弘志、渡部文昭、谷口 肇、力山敏樹 : 膵頭十二指腸切除における膵空腸吻合とSurgeon Volume および膵液瘻の頻度の関係. 第68回日本

- 消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
- 15) 石岡大輔、清崎浩一、高田 理、小櫃 保、齊藤正昭、力山敏樹：当院における80歳以上高齢者胃癌に対するリンパ節廓清縮小手術の妥当。第68回日本消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
  - 16) 齊藤正昭、清崎浩一、小櫃 保、千葉文博、高田 理、力山敏樹：S-1/CDDP導入化学療法後の手術介入により治癒切除が可能であった切除不能胃癌症例の検討。第68回日本消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
  - 17) 阿部 郁、清崎浩一、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、力山敏樹：食道胃接合部における至適リンパ節廓清範囲の検討と治療戦略。第68回日本消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
  - 18) 長谷川美美、清崎浩一、高田 理、齊藤正昭、千葉文博、力山敏樹：早期胃癌における脈管侵襲とリンパ節転移の関係についての検討。第68回日本消化器外科学会総会、2013. 7. 17-17、宮崎 口演
  - 19) 力山敏樹：エナジーデバイスをを用いた腓頭十二指腸切除術～開腹術・ラパロ編～。第44回日本膵臓学会大会、2013. 7. 25-26、仙台 ライイチョンセミナー
  - 20) 渡部文昭、野田弘志、柿澤奈緒、谷口 肇、阿部 郁、力山敏樹：膵管非拡張症例における腓頭十二指腸切除後の膵液瘻の危険因子。第44回日本膵臓学会大会、2013. 7. 25-26、仙台 口演
  - 21) 野田弘志、渡部文昭、力山敏樹：膵頭十二指腸切除後乳糜漏の検討。第44回日本膵臓学会大会、2013. 7. 25-26、仙台 口演
  - 22) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、谷口 肇、柿澤奈緒、力山敏樹：膵頭十二指腸切除後膵液瘻発生の危険因子としての肥満の意義。第44回日本膵臓学会大会、2013. 7. 25-26、仙台 ポスター
  - 23) 谷口 肇、野田弘志、渡部文昭、柿澤奈緒、市田晃佑、力山敏樹：癌術後5年生存した8例の検討。第44回日本膵臓学会大会、2013. 7. 25-26、仙台 ポスター
  - 24) 千葉文博、早田邦康、山田茂樹、徳竹由華、長南茂、小西文雄、川上正舒、力山敏樹：腫瘍の存在する環境が悪液質誘発とその脂質代謝に影響する－宿主側因子の検討－。第9回免疫アジュバント研究会。2013. 9. 6 自治医科大学附属さいたま医療センター。口演
  - 25) 早田邦康：ポリアミンと免疫。第9回免疫アジュバント研究会。2013. 9. 6 自治医科大学附属さいたま医療センター。口演
  - 26) Soda K : Possible contribution of dietary polyamine to human health and longevity. 第86回日本生化学会大会. シンポジウム (健康と疾病に深くかかわるポリアミン). 2013. 11-13 神奈川. English symposium.
  - 27) 阿部 郁、清崎浩一、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、力山敏樹：食道胃接合部における至適リンパ節廓清範囲の検討と治療戦略。第67回日本食道学会学術集会、2013. 6. 13-14、大阪 口演
  - 28) 高田 理、清崎浩一、齊藤正昭、石岡大輔、千葉文博、小櫃保、力山敏樹：当院で経験した食道小細胞癌の臨床病理学的特徴について。第67回日本食道学会学術集会、2013. 6. 13-14、大阪 口演
  - 29) 齊藤正昭、清崎浩一、小櫃 保、千葉文博、高田 理、力山敏樹：再発・進行食道癌に対する2次治療としてのNedaplatin/ Vindesine療法の検討。第67回日本食道学会学術集会、2013.6.13-14、大阪 口演
  - 30) 千葉文博、早田邦康、山田茂樹、徳竹由華、長南茂、小西文雄、川上正舒、力山敏樹：癌悪液質の誘発における宿主側因子の検討。第22回日本癌病態治療研究会 2013. 6. 27-28 東京 口演
  - 31) 渡部文昭、野田弘志、市田晃佑、力山敏樹：膵管非拡張症例における膵頭十二指腸切除後の膵液瘻とSSIの危険因子。第40回膵切研究会 2013. 8. 30-31 高松 ポスター
  - 32) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、土橋 洋、野首光弘、鈴木浩一、力山敏樹：直腸癌術後膵転移に対して膵頭十二指腸切除を施行した1例。第40回膵切研究会 2013. 8. 30-31 高松 ポスター
  - 33) 市田晃佑、野田弘志、谷口 肇、渡部文昭、蛭田昌宏、土橋 洋、力山敏樹：肝内胆管癌との鑑別に苦慮した肝内結石症からの区域胆管炎に起因する肝炎症性偽腫瘍。第49回日本胆道学会学術集会 2013. 9. 19-20 千葉 ポスター
  - 34) 渡部文昭、野田弘志、谷口 肇、力山敏樹：肝門部胆管癌に対する肝中央二区域+尾状葉切除術。第49回日本胆道学会学術集会 2013. 9. 19-20 千葉 ポスター
- その他
- 1) 力山敏樹：大腸癌肝転移の外科治療。Surgical Oncology Symposium、2013. 7. 13、仙台 講演
  - 2) 早田邦康：ポリアミンによる健康長寿。日本食品科学工学会大会・研究小委員会 (大豆) 2013. 8. 23-31実践女子大学 ランチョンセミナー講演



## ■ 心臓血管外科

### ☆原著論文

- 1) Yamaguchi, A. Adachi, K. Yuri, K. Kimura, N. Kimura, C. Tamura, A. and Adachi, H. Reduction of Mitral Valve Leaflet Tethering by Procedures Targeting the Subvalvular Apparatus in Addition to Mitral Annuloplasty. *Circulation Journal* Vol. 77 No. 6 June 2013 : p1461-1465
- 2) Morita, H. Kimura, N. Yuri, K. Adachi, K. Yamaguchi, A. and Adachi, H. Bentall Operation for Prosthetic Valve Endocarditis with Hereditary Hemorrhagic Telangiectasia. *Ann Thorac Cardiovasc Surg Advance Published* Date : February 15. 2013. doi : 10. 5761/atcs.cr. 12. 01933
- 3) 荒川 衛, 武輪能明, 西村 隆, 巽 英介. 右心補助を目指した定常流型左室補助人工心臓による心拍同期回転数制御システムの開発. *人工臓器*42 巻1号 2013. P37-38

### ☆学会発表

- 1) 野中崇央, 由利康一, 長野博司, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. ショートネック遠位弓部大動脈瘤に対しコイル縫着開窓型ステントグラフトを使用し治療した1例. 第162回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p11 第162回日本胸部外科学会関東甲信越地方会2013. 6. 1 都市センターホテル
- 2) 小林祐介, 由利康一, 吉崎隆道, 西 智史, 田島泰, 長野博司, 木村知恵里, 山口敦司, 安達秀雄. 胸腹部大動脈人工血管置換術後グラフト破綻に対し緊急Debranched TEVARを施行した1例. 第162回日本胸部外科学会関東甲信越地方会要旨集 p11 第162回日本胸部外科学会関東甲信越地方会2013. 6. 1 都市センターホテル
- 3) 佐藤哲也, 陣内真理子, 吉崎隆道, 田村 敦, 内藤和寛. 冠動脈バイパス術後の超低左心機能の虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対し, 右開胸僧帽弁置換術を施行した1例. 第3回さいたま-練馬-神奈川症例検討会 2013.6.8 TKP横浜ビジネスセンター カンファレンスルーム7A
- 4) 佐藤健一郎, 小日向聡行. 止血に難渋した左房内血栓の1例. 第3回さいたま-練馬-神奈川症例検討会 2013. 6. 8 TKP横浜ビジネスセンター カンファレンスルーム7A
- 5) 木村直行, 竹内紘子, 白杉岳洋, 森田英幹. カテーテルアブレーション後 食道損傷の1治療

- 例. 第3回さいたま-練馬-神奈川症例検討会 2013. 6. 8 TKP横浜ビジネスセンター カンファレンスルーム7A
- 6) 西 智史, 白水御代, 湯地大輔, 池谷佑樹, 野口権一郎, 片山郁雄, 田中正史, 谷 友之, 齋藤滋. 高度心不全に合併した左室内血栓症の1手術例. 第3回さいたま-練馬-神奈川症例検討会2013. 6. 8 TKP横浜ビジネスセンター カンファレンスルーム7A
- 7) 松本春信, 松本力雄, 山田博文, 黒田 徹, 堀大治郎, 田村 敦, 長野博司, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. ブラッドアクセス作成困難例に対する上腕静脈転位の経験. *静脈学* 2013 Vol.24 No.2 p78 第33回日本静脈学会総会 2013. 6. 28-29 倉敷市芸文館
- 8) 西 智史, 小林祐介, 中野光規, 吉崎隆道, 野中崇央, 田島 泰, 堀 大治郎, 長野博司, 田村敦, 木村知恵里, 由利康一, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. 上肢静脈性血管瘤の1例. *静脈学* 2013 Vol.24 No.2 p108 第33回日本静脈学会総会 2013. 6. 28-29 倉敷市芸文館
- 9) 小林祐介, 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 松本春信, 木村知恵里, 田村 敦, 堀 大治郎, 野中崇央, 西 智史, 吉崎隆道, 安達秀雄. 下肢深部静脈血栓症を疑われペーカー嚢腫破裂と診断した2例. *静脈学* 2013 Vol.24 No.2 p142 第33回日本静脈学会総会 2013. 6. 28-29 倉敷市芸文館
- 10) 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 木村知恵里, 長野博司, 田村 敦, 堀 大治郎, 田島 泰, 野中崇央, 西 智史, 吉崎隆道, 竹内太郎, 竹内紘子, 小林祐介, 安達秀雄. 虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療. 第18回日本冠動脈外科学会学術大会演題抄録集 p70 第18回日本冠動脈外科学会学術大会 2013.7.11-12 福岡国際会議場
- 11) 吉崎隆道, 田村 敦, 佐藤哲也, 内藤和寛, 由利康一. EVAR術後にendograft MRSA感染で死亡した1例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p7 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 12) 竹内紘子, 木村直行, 森田英幹. 腹部大動脈ステントグラフト留置後腹部大動脈(ステントグラフト)閉塞をきたした1例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p9 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 13) 横山野武, 伊藤 智, 小林祐介, 山口敦司, 安達秀雄. 肺動脈弁+肺動脈置換術後の肺動脈狭窄再

- 発症例に対する形成術を施行した一例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p10 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 14) 橋本和憲, 安達晃一, 田島 泰, 玉井宏一, 伊藤智, 由利康一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. 上行置換術後にバルサルバ洞拡大と吻合部仮性瘤に対して基部置換術および部分弓部置換術を施行した1例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p14第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 15) 武部 学, 堀 大治郎, 由利康一, 長野博司, 竹内太郎, 伊藤 智, 山口敦司, 安達秀雄. 腹部ステントグラフト術施行2年後に発生したType1 Endoleakに対して追加治療をおこなった1例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p15 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 16) 野村陽平, 野中崇央, 中張裕史, 由利康一, 山口敦司, 安達秀雄. EVAR後の脚閉塞により急性下肢動脈閉塞をきたした一症例. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー冊子 p15 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 17) 玉井宏一, 由利康一, 橋本和憲, 田島 泰, 伊藤智, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 腹部大動脈瘤破裂手術中に下行大動脈clampによる大動脈解離を認めた一例. 第13回血管外科アカデミー冊子 p8 第13回血管外科アカデミー 2013.8.24 石川県加賀観光ホテル
- 18) 野中崇央, 由利康一, 横山野武, 小林祐介, 玉井宏一, 竹内太郎, 野村陽平, 橋本和憲, 田島泰, 武部 学, 伊藤 智, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 感染性胸部下行大動脈瘤に対してTEVAR施行後に二期的に瘤切除・大網充填を施行した一例. 第13回血管外科アカデミー冊子 p24 第13回血管外科アカデミー 2013.8.24 石川県加賀観光ホテル
- 19) 由利康一, 野村陽平, 野中崇央, 伊藤 智, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. Bolton RELAY plusの使用経験. 第13回血管外科アカデミー冊子 p26 第13回血管外科アカデミー 2013.8.24 石川県加賀観光ホテル
- 20) 野村陽平, 由利康一, 中野光規, 西 智史, 田村敦, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. EVAR後の脚閉塞による急性動脈閉塞に対してFFバイパスを施行した一例. 第13回血管外科アカデミー冊子 p9 第13回血管外科アカデミー 2013.8.24 石川県加賀観光ホテル
- 21) 野村陽平, 由利康一, 野中崇央, 山口敦司, 安達秀雄. EVAR術後に脚閉塞をきたした一例. 第830回外科集談会 2013.9.21 東京大学山上会館
- 22) 松本春信, 伊藤 智, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 北岡 際, 鈴木 潤, 出口順夫, 佐藤紀, 安達秀雄. アクセス作成困難症例におけるaggressive autogeneous arteriovenous fistula policy. 第17回日本アクセス研究会学術集会・総会 2013.9.21-22 川越
- ☆その他
- 1) 安達秀雄: 講演 大動脈外科の進歩と課題. 川崎大動脈アンカレッジ (大動脈疾患の診察) 2013 2013.7.6 横浜
- 2) 由利康一: ミニレクチャー 腹部大動脈疾患に対するステント留置手術. 第4回東海-さいたま心臓血管外科サマーセミナー 2013.7.13-14 箱根
- 3) 荒川 衛: Grant-MERA受賞 右心補助を目指した定常流型左室補助人工心臓による心拍同期回転数制御システムの開発. 人工臓器42巻1号 2013. P37-38 第50回日本人工臓器学会大会特集号

## ■ 脳神経外科

### (1) 学会発表

- 1) 石川眞実: 脳梗塞発症の指標としての頸動脈プラークと白質病変の検討. 第53回埼玉県高血圧研究会 2013, 7/6 さいたま
- 2) Mami Ishikawa, Akira Ebihara, Gen Kusaka, Yuichi Tanaka, Takayuki Morikawa, Tomomi Nakamura, Mayumi Kajimura, Makoto Suematsu: Cerebral microcirculation immediately after subarachnoid hemorrhage. Joint Meeting 27th European Microcirculation Society and 7th European Vascular Biology Organisation during the IUPS meeting, July 21-26, 2013, Birmingham, UK.
- 3) 石川眞実, 太田 康, 高嶋浩一, 加持春菜, 伊古田雅史, 山黒友丘, 海老原 彰, 草鹿 元, 田中裕一: 術中超音波内視鏡と外眼筋モニターの有用性. 第18回日本脳腫瘍の外科学会, 2013, 9/19-20, 大津
- 4) Tanaka Y, Ebihara A, Ikota M, Yamaguro T, Kamochi H, Kusaka G, Ishikawa M, Konno T, Watanabe E: Early diagnosis of cerebral ischemia in cerebral vasospasm by oxygen-

pulse near infrared optical topography. 12th International Conference on Neurovascular Events after Subarachnoid Hemorrhage, July 10-12, 2013, Lucerne/Switzerland

- 5) 山黒友丘, 草鹿 元, 伊古田雅史, 加持春菜, 海老原 彰, 石川眞実, 田中裕一: 診断と治療に苦慮した大脳半球巨大嚢胞性病変の1例. 第121回日本脳神経外科学会関東地方会 2013,9/28, 東京

## ■ 整形外科

### <原著論文>

- 1) 税田和夫, 秋山 達, 遠藤 実, 神田翔太郎, 岩本健一: トラマドール塩酸塩・アセトアミノフェン配合錠の使用経験. 整形外科64, 961-963, 2013

### <学会発表>

- 1) 税田和夫, 穴水依人, 秋山 達, 遠藤 実, 神田翔太郎: MRSA化膿性脊椎炎の経験. 第62回東日本整形災害外科学会, 2013/9/19-21, 軽井沢

## ■ 耳鼻咽喉科

### <原著論文>

- 1) 金沢弘美, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 新鍋晶浩, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 二次性真珠腫の進展方向について一緊張部型真珠腫との比較一. 頭頸部外科23 (1): 49-54, 2013.
- 2) 新鍋晶浩, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 70歳以上の高齢者における鼓室形成術の検討. Otol Jpn 23(3): 198-203, 2013.
- 3) 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 耳症状を初発としたANCA関連血管炎性中耳炎症例の臨床像. Otol Jpn23 (3): 268-274, 2013.
- 4) 原測保明, 飯野ゆき子, 岸部 幹, 吉田尚弘, 立山香織, 小林茂人: ANCA関連血管炎性中耳炎 Otitis media with ANCA associated vasculitis (OMAAV) の診断基準 (案)
- 5) 飯野ゆき子, 原測保明, 岸部 幹, 小林茂人, 立山香織, 吉田尚弘: 成人難治性中耳炎の診断アルゴリズム - ANCA関連血管炎性中耳炎を正しく診断するために -. Otol Jpn23 (3): 282-284, 2013.

### <学会発表>

- 1) Yoshida, N.: Surgical Indication and Procedure

of Endoscopic Sinus Surgery for the Acute Rhinosinusitis and Complications in Children. 20th IFOS World Congress, June1-5, 2013, Seoul, pp190.

- 2) 柚 夏美, 山本大喜, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: PFAPA症候群が疑われた1症例. 第114回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会, 2013年6月16日, プログラムp4, 浦和.
- 3) 山本大喜, 柚 夏美, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: Laterral sinus thrombosis を合併した弛緩部型真珠腫の小児症例. 第114回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会, 2013年6月16日, プログラムp8, 浦和.
- 4) 飯野ゆき子: シンポジウム3. 「中耳炎に対する保存療法, 手術療法の選択」 滲出性中耳炎に対する鼓膜チューブ留置術について. 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年6月20-21日, 小児耳2013; 34 (2): 95, 前橋.
- 5) 長谷川雅世, 原 真理子, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: MRSAによる鼻前庭周囲の伝染性膿痂疹に伴う頸部化膿性リンパ節炎の1例. 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年6月20-21日, 小児耳2013; 34 (2): 128, 前橋.
- 6) 新鍋晶浩, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 小児真珠腫性中耳炎における顔面神経露出症例の検討. 第8回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会, 2013年6月20-21日, 小児耳2013; 34(2): 163, 前橋.
- 7) 吉田尚弘, 松澤真吾, 原 真理子, 長谷川雅世, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 飯野ゆき子: 気管狭窄をきたした甲状腺良性疾患の検討. 第75回耳鼻咽喉科臨床学会総会および学術講演会, 2013年7月11-12日, pp47 (耳鼻臨床 補135, p148), 神戸.

### <その他>

- 1) 吉田尚弘: 基調講演1 「小児の鼻副鼻腔疾患と手術適応」. 小児科・耳鼻咽喉科臨床マネジメント講演会, 2013年6月12日, さいたま市.
- 2) 吉田尚弘: 講演「カモガヤ花粉症について」. 第16回S.S.O. (埼玉病院勤務医の会), 平成25年7月9日, さいたま市.
- 3) 飯野ゆき子: 聴衆参加型パネルディスカッション司会「急性中耳炎・滲出性中耳炎」第75回耳鼻咽喉科臨床学会総会および学術講演会, pp11 (耳鼻臨床 補135, p148), 2013年7月11-12日, 神戸.

- 4) 飯野ゆき子：講演4「耳鼻咽喉科領域におけるマクロライド系抗菌薬の軌跡と展望」大正富山 Medical Symposium, 2013年7月27日, 大阪.

## ■ 産婦人科

### 論文発表

- 1) 深津優子, 堀内 功, 齋藤将也, 近澤研郎, 芝田 恵, 佐々木由梨, 根津幸穂, 満下淳地, 今野 良. 子宮頸癌I b1期に対し妊孕性温存療法(円錐切除術+骨盤リンパ節郭清+術後化学療法)後に妊娠分娩に至った症例. 埼玉産科婦人科学会雑誌, 43 (2) : 130-134, 2013.
- 2) 根津幸穂, 大井朝子, 浅尾有紀, 澁谷裕美, 佐々木由梨, 満下淳地, 近澤研郎, 齋藤将也, 今野 良. 腹腔鏡下子宮全摘出術の術式選択. 埼玉産科婦人科学会雑誌, 43 (2) : 181-185, 2013.

### 学会発表

- 1) 今野 良. 【教育・要望講演】がん対策推進基本計画における子宮頸がん検診. 第54回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 東京, 2013年6月1日.
- 2) 今野 良. HPV併用検診とその意義の解説. 第54回日本臨床細胞学会総会(春期大会)市民公開講座「知っていますか? 新しくなる子宮頸がん検診」, 東京, 2013年6月2日.
- 3) 堀内 功, 王 良誠, 見上由紀子, 深津優子, 中島千絵, 鈴木由梨奈, 近澤研郎, 根津幸穂, 満下淳地, 今野 良, 高木健次郎. 妊娠中期にくも膜下出血の発症を認めたPAPA症候群合併妊娠の一例. 第83回 埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会 平成25年度前期学術集会, さいたま, 2013年6月29日.
- 4) 鈴木由梨奈, 根津幸穂, 中島千絵, 近澤研郎, 満下淳地, 見上由紀子, 王 良誠, 高木健次郎, 今野 良. 腹腔鏡下手術を行ったmassive ovarian edemaの1例. 第83回 埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会 平成25年度前期学術集会, さいたま, 2013年6月29日.
- 5) 今野 良. 【特別講演】包括的子宮頸がん予防—検診の現状と将来. 第50回日本臨床細胞学会東北支部連合会学術集会, 青森, 2013年7月6日.
- 6) 今野 良. 【シンポジウム】子宮頸がん検診の新たな展開. 第21回日本がん検診・診断学会総会, 群馬, 2013年7月20日.
- 7) 今野 良. 【ワークショップ】子宮頸がん予防におけるワクチンの導入と検診の意義. 第21回日本がん検診・診断学会総会, 群馬, 2013年7月20日.

- 8) 根津幸穂, 近澤研郎, 満下淳地, 鈴木由梨奈, 中島千恵, 今野 良. 腹腔鏡併用により成熟嚢胞性奇形腫の悪性転化が早期に診断された一例. 第53回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 愛知, 2013年9月5~7日.

### 著書、総説

- 1) 今野 良. ヒトパピローマウイルスと子宮頸癌. 臨床検査, 57 (7) : 783-789, 2013.
- 2) 高木健次郎, 鮫島浩輝, 松村英祥. HELLP症候群. 腎と透析, 74 (6) : 1117-1121, 2013.

### その他

- 1) 今野 良. 子宮頸がんワクチンの有効性と安全性について. 自治医科大学附属さいたま医療センター平成25年度第1回公開講座, さいたま, 2013年6月16日.
- 2) 今野 良. 思春期からの子宮頸がん予防・啓発活動. 日本助産師会研修会 助産師として知っておきたい予防接種の最新知識, 東京, 2013年7月7日.
- 3) 今野 良. 婦人科. 平成25年度石川県細胞診従事者育成研修会, 石川, 2013年7月14日.

## ■ 歯科口腔外科

### 学会

- 1) Ioka, Y., Ushijima, K., Ioka, T., Noguchi, T., Jinbu, Y., Kusama, M., Fujimura, A. : Chronotherapy with docetaxel cisplatin and 5-fluorouracil (5-FU) in patients with oral squamous cell carcinoma. 11th EACPT (The 11th Conference of the European Association for Clinical Pharmacology and Therapeutics 欧州臨床薬理学会), Geneva (Switzerland), Aug 28-31, 2013.
- 2) 宮城徳人, 神部芳則, 杉浦康史, 井上恵美, 土屋欣之, 伊藤弘人, 野口忠秀, 大橋一之, 小佐野仁志, 草間幹夫: ポリグリコール酸シート (PGAシート) とフィブリン糊スプレーによる創面被覆による口腔腫瘍切除後の経過観察中に、腫瘍切除面に難治性の肉芽腫性病変を認めた1例. 第23回日本口腔内科学会第26回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013年9月13, 14日. (プログラム抄録集 p70)
- 3) 小佐野仁志, 井岡友梨, 林 宏栄, 岡本珠璃, 中井雄一郎, 草間幹夫: 舌痛症の臨床的検討. 第23回日本口腔内科学会第26回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013年9月13, 14日. (プログ

ラム抄録集 p76)

- 4) 小澤通子, 野口忠秀, 土屋欣之, 渡辺秀紀, 土肥昭博, 宗正憲和, 岡田成生, 大谷津幸生, 早坂純一, 篠崎泰久, 伊藤弘人, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 当科における口腔扁平上皮癌症例の原発巣SUVmax値と病期ならびに予後に関する検討. 第23回日本口腔内科学会第26回日本口腔診断学会合同学術大会, 東京, 2013年9月13, 14日. (プログラム抄録集 p168)
- 5) 土屋欣之, 野口忠秀, 中井雄一郎, 岡田成生, 早坂純一, 篠崎泰久, 伊藤弘人, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 当科における口腔扁平上皮癌ハイリスク症例に対する術後化学放射線療法の検討. 第58回公益社団法人日本口腔外科学会総会学術大会, 福岡, 2013年10月11-13日. (プログラム抄録集 p277)
- 6) 小佐野仁志, 井岡友梨, 林 宏栄, 岡本瑠珠, 草間幹夫: 超選択的動注化学放射線治療中に化膿性脊椎炎を生じた舌癌の1例. 第58回公益社団法人日本口腔外科学会総会学術大会, 福岡, 2013年10月11-13日. (プログラム抄録集 p306)

#### その他

- 1) 小佐野仁志: 講演; 口腔ケアの基本と実際. 第11回口腔ケア研修会(地域社会振興財団), 自治医大, 2013年9月18日.
- 2) 小佐野仁志, 鈴木美佳: 講演; 造血幹細胞移植患者に対する口腔ケア~病棟看護師との連携の試み~. 第11回口腔ケア研修会(地域社会振興財団), 自治医大, 2013年9月18日.

## 編集後記

今回の発行に際しては、研究だよりの編集の責任者をして頂いている石川教授に巻頭言をお願いいたしました。また、多くの先生方から投稿頂き、ご協力ありがとうございました。研究だよりを通して、センターの研究等の状況を発信していきたいと思えます。

この季節、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋などとてもよい季節です。秋の夜長を好きなことで満喫して頂きたいと思えます。

また、先日、国際オリンピック委員会（IOC）総会において、2020年夏季オリンピックが、マドリッド、イスタンブール、東京の中から、投票で東京が開催することに決定し、早朝から非常に明るいニュースが飛び込んでまいりました。開催まで7年後になりますが、世界中のアスリートが東京に集まり、今から非常に楽しみです。

(T)

自治医科大学附属さいたま医療センター  
研究だより 第37号

発行日 平成25年10月18日  
発行 自治医科大学附属さいたま医療センター  
発行責任者 センター長 百村 伸一  
編集 事務部 総務課  
BSL 宿舎・研修施設事務室  
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847  
TEL. 048-647-2111  
FAX. 048-648-5166  
題字 百村 伸一 センター長

印刷 第一印刷(株)